

MPE720 Ver.7.34 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.34 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.33 → Ver.7.34 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に MLNK-SVR 命令を追加しました。	新規追加
2	MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に FLASH-OP 命令を追加しました。	新規追加
3	SVC モジュールのステータス表示を改善しました。	機能強化
4	Expression 命令に、レジスタコメントを表示する機能を追加しました。	機能強化
5	プロジェクト内置換機能のアドレス指定の置換機能を改善しました。	機能強化
6	CF カード転送機能に、個別転送機能を追加しました。	機能強化
7	ラダープログラムの Expression 編集機能を改善しました。	機能強化
8	ラダー命令で使用されるローカル変数表記を改善しました。	機能強化
9	モーションレジスタの軸変数に変数とコメントを追加しました。	機能強化
10	Σ-V シリーズのサーボパックに、新たにサーボパラメータと、サーボモニタを追加しました。	改善
11	コメントリストの更新タイミングを変更しました。	改善
12	定数変数チェック機能の処理を改善しました。	改善
13	リアルタイムトレース機能の「トレース定義データファイルを開く」処理を改善しました。	改善
14	内蔵 SVC の伝送周期のメッセージを修正しました。	改善
15	テスト運転操作時のエラーメッセージ文言を変更しました。	改善
16	各ラダー図面からの「現在位置からの呼び出し参照」機能の現在値採取機能の動作を改善しました。	改善
17	サーボパラメータ読み込み時の通信処理を改善しました。	改善
18	ラダーエディタの置換機能に、変数表示モードを追加しました。	改善
19	自動ウォッチの変数表示を改善しました。	改善
20	MPE720 起動時の動作を改善しました。	改善
21	MTD2310/30 の入出力変数登録誤りを改善しました。	改善
22	M-III インバータモニタパラメータ IWxx31 のパラメータ表示誤りを改善しました。	改善
23	PO-01 の固定パラメータ文言の誤りを改善しました。	改善
24	新ラダーの印刷処理を改善しました。	改善
25	モーションプログラムのコンパイル処理を改善しました。	改善
26	バックグラウンドフラッシュ保存完了メッセージの表示タイミングを改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

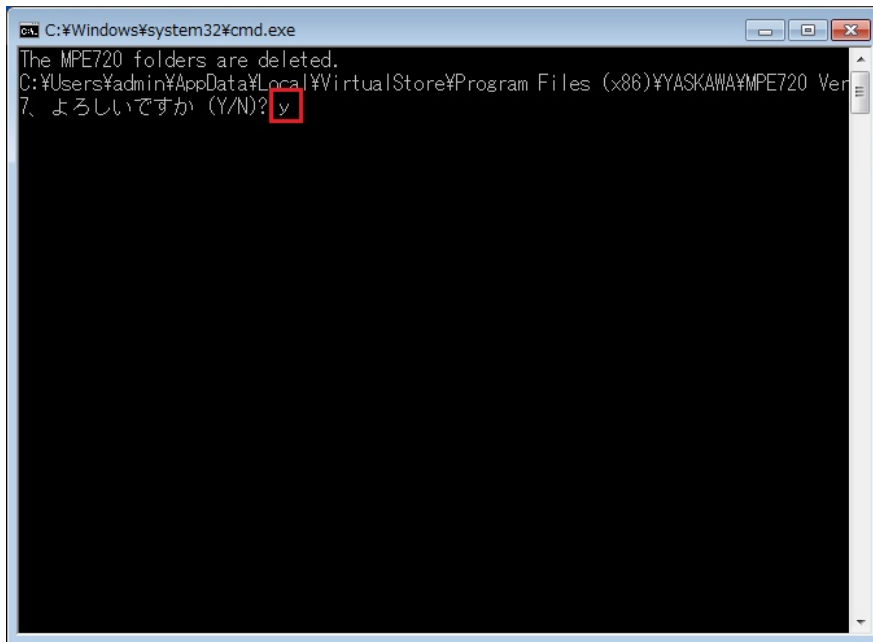
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

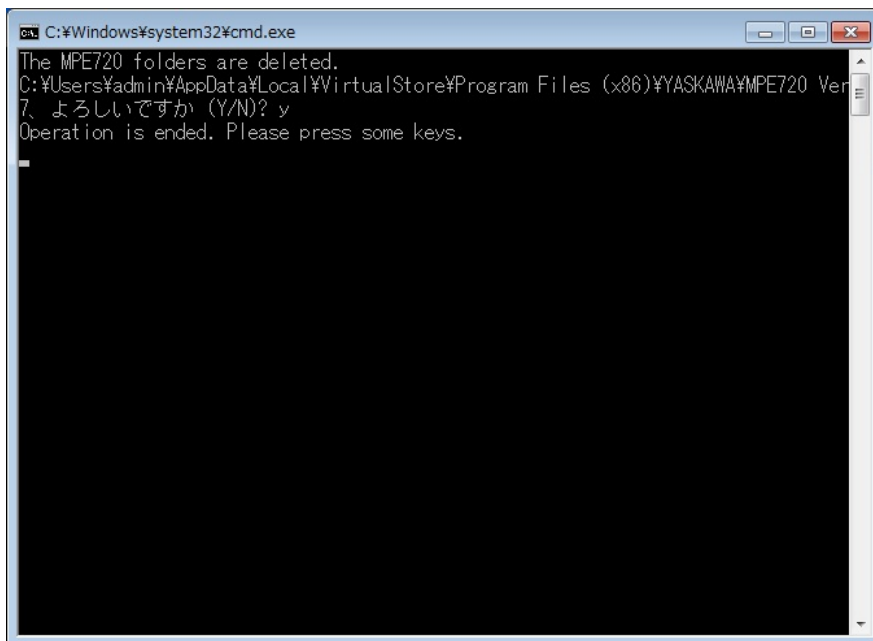


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
_
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

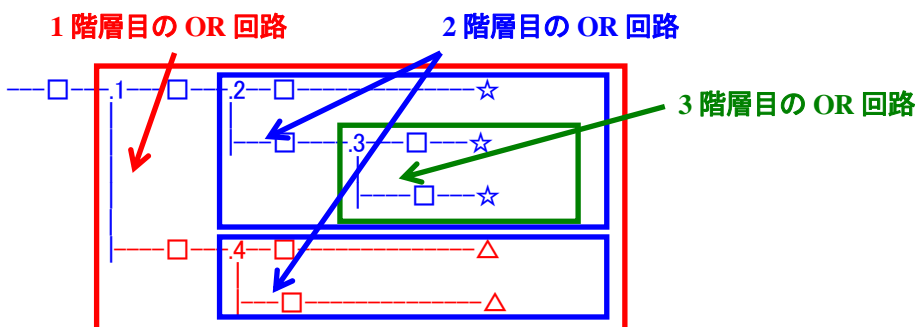
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



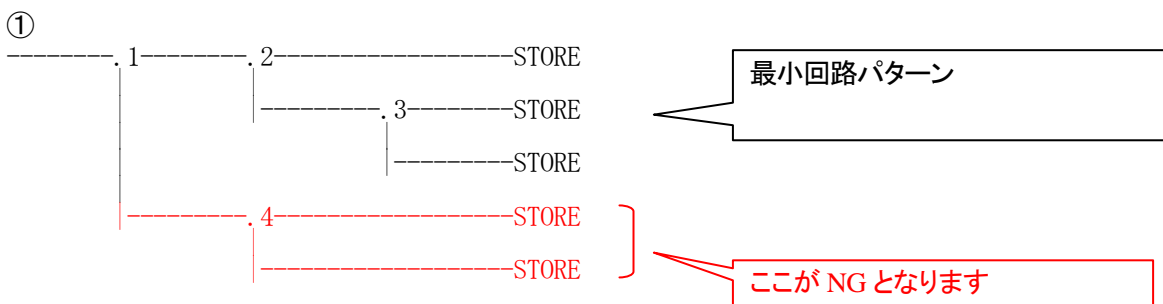
- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

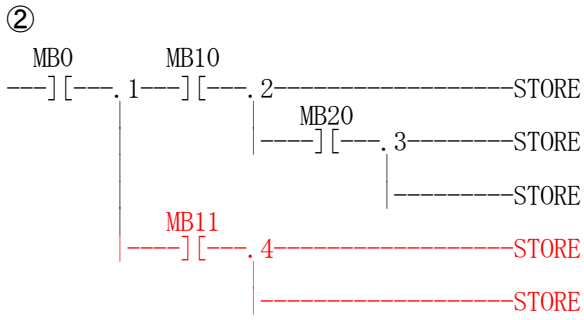
- (条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など
 ※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む
- ☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など
 ※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。
- △(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

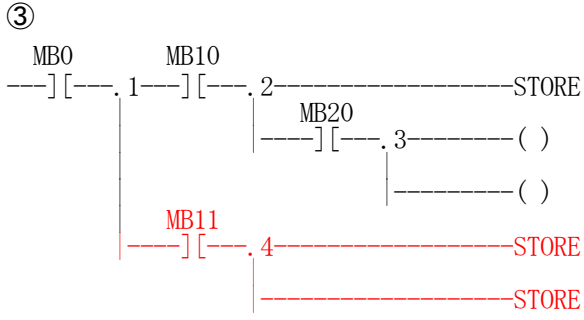
【NG パターン】





最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

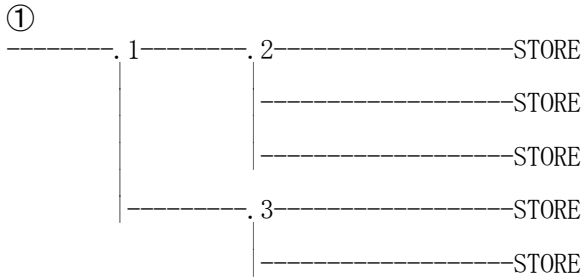
ここが NG となります



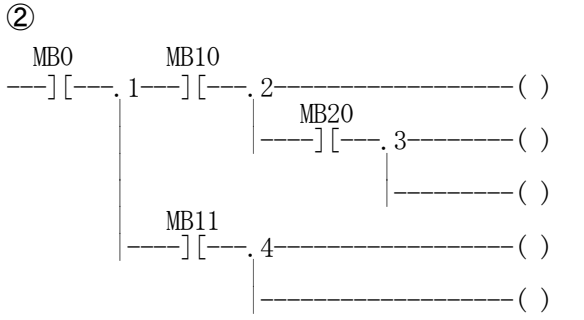
ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があると NG

ここが NG となります

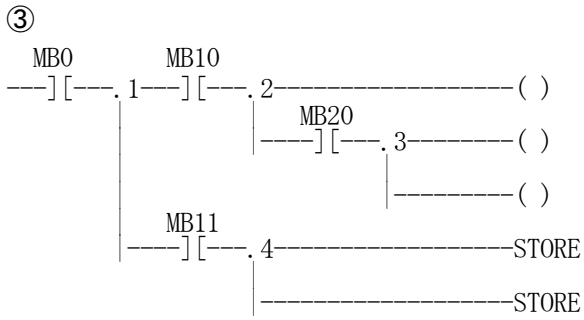
【OK パターン】



2 階層の OR 回路なので OK



すべてコイルなので OK



すべてコイルなので OK

1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24
8	MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報	Ver7.24→Ver7.26
9	MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報	Ver7.26→Ver7.27
10	MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報	Ver7.27→Ver7.28
11	MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報	Ver7.28→Ver7.29
12	MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報	Ver7.29→Ver7.30
13	MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報	Ver7.30→Ver7.31
14	MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報	Ver7.33→Ver7.34

2. 修正内容詳細

No. 1 MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に MLNK-SVR 命令を追加しました。

MP3000 シリーズコントローラに以下の命令を追加しました。

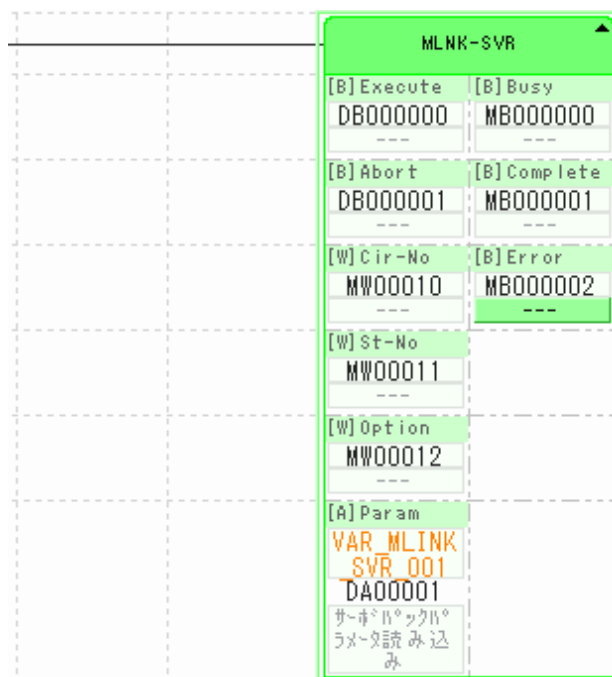
・サーボパックパラメータ読み出し (MLNK-SVR)

指定された回線番号及び軸番号のサーボパックの RAM 領域からパラメータを一括して読み込み、サーボパックパラメータのバックアップファイルとしてマシンコントローラに保存しているパラメータに上書きします。

本関数を使用することにより、サーボパックの交換を行うとき、MPE720 などのツールがなくても、ラダー処理のみでサーボパックパラメータを読み込むことができます。

また、以下の変更を実施しました。

1. ラダー命令ツリーに、MLNK-SVR 命令を追加しました。
2. ラダー命令のコンパイル処理に、MLNK-SVR 命令を追加しました。
3. システム構造体に、MLNK-SVR 命令の構造体を追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.23 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

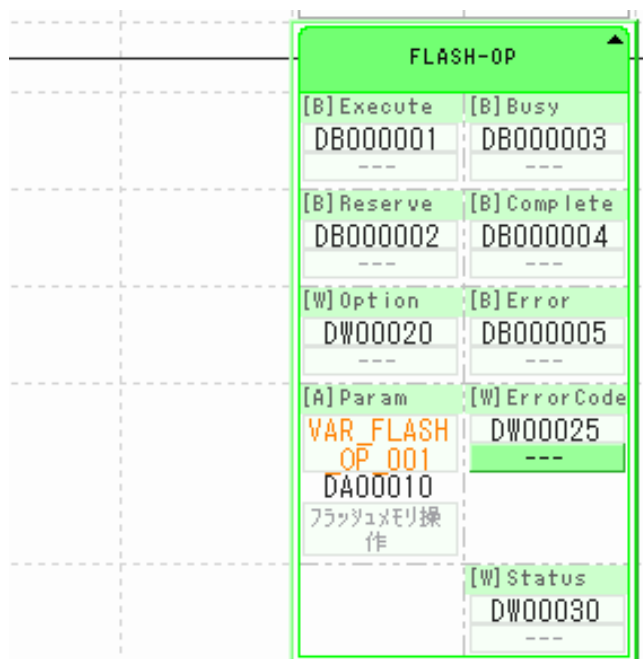
No. 2 MP3000 シリーズコントローラのラダー命令に FLASH-OP 命令を追加しました。

MP3000 シリーズコントローラに以下の命令を追加しました。

- ・フラッシュ操作(FLASH-OP)
コントローラ上の RAM データを比較、保存します。本関数を使用することによりラダー上でフラッシュと RAM の比較、フラッシュ保存ができるようになります。

また、以下の変更を実施しました。

1. ラダー命令ツリーに、FLASH-OP 命令を追加しました。
2. ラダー命令のコンパイル処理に、FLASH-OP 命令を追加しました。
3. システム構造体に、FLASH-OP 命令の構造体を追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.23 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

No. 3 SVC モジュールのステータス表示を改善しました。

サーボの軸番号が重複している場合に、モジュール構成定義画面でSVCモジュールのステータスを確認すると、「故障中」と表示される現象がありましたので、軸番号が重複している際は、SVC のステータスに「局アドレス重複」と表示されるように改善しました。

モジュール	機能モジュール/スレーブ	ステータス
01 CPU-201 : ---		
-- UNDEFINED --		
PSA-12		
00 CPU-201	01 CPU	運転中
	02 218IFD	運転中
	03 <input checked="" type="checkbox"/> SVC32	局アドレス重複
	04 <input checked="" type="checkbox"/> SVR32	運転中
	05 M-EXECUTOR	運転中
	06 -- UNDEFINED --	----

【対応バージョン】

○コントローラ

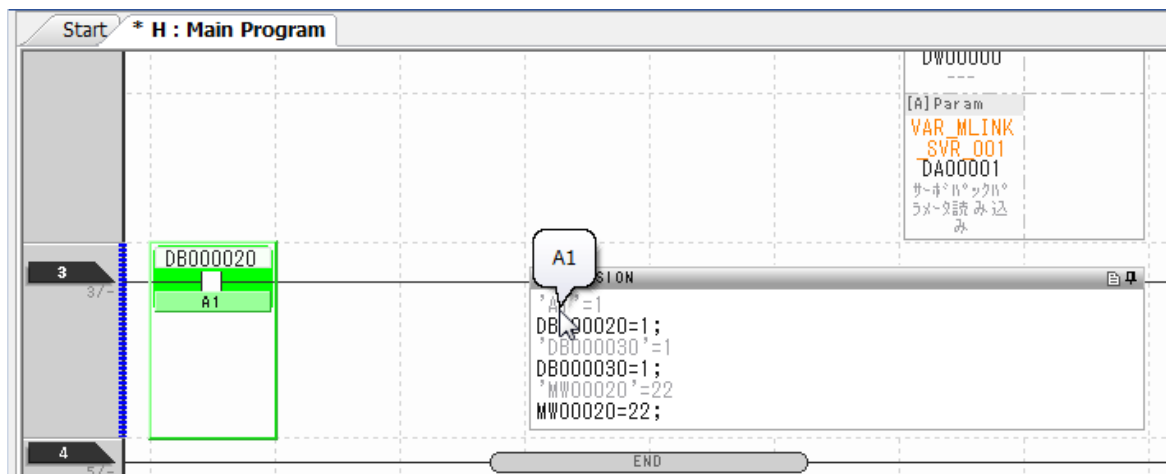
コントローラ	機種	対応バージョン
MP3000 シリーズ	全機種	Ver.1.23 以降
MP2000 シリーズ	以下を除く機種 MP2100, MP2101, MP2400, NSC-M21	Ver.2.96 以降

○オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVC-01	Ver1.16 以降

No. 4 Expression 命令に、レジスタコメントを表示する機能を追加しました。

1. Expression 命令に、レジスタコメントを表示する機能を追加しました。
2. レジスタコメントの表示文字数を設定する機能を環境設定画面の「ラダー」→「表示」に追加しました。
3. Expression 命令において、レジスタコメントにマウスカーソルを当てた場合に、バルーンヘルプでレジスタコメントを表示する機能を追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.5 プロジェクト内置換機能のアドレス指定の置換機能を改善しました。

1. プロジェクト内置換機能のアドレス指定の画面を変更しました。
複数のレジスタ置換を1回の置換で行えるように画面を変更しました。
2. 複数レジスタ置換機能の設定をエクスポート、インポートする機能を追加しました。
3. レジスタコメントの入れ替え機能を追加しました。

置換例)

○置換前

MW00000:X 軸位置 ⇔ MW00001:Y 軸位置

○置換後

MW00000:Y 軸位置 ⇔ MW00001:X 軸位置



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 6 CF カード転送機能に、個別転送機能を追加しました。

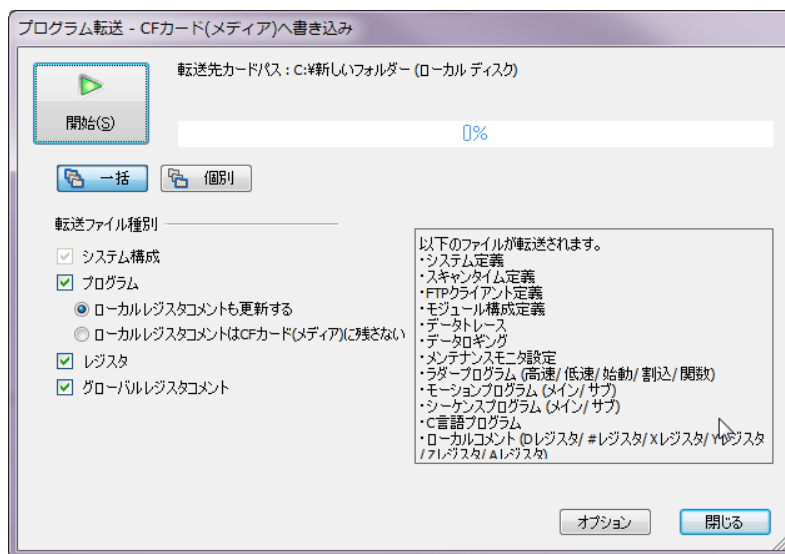
転送機能の「CF カード(メディア)への書き込み」において、「個別転送」機能をサポートしました。

OCF カード(メディア)への書き込み

対象	形式	本機能のサポート
MP コントローラ転送		×
フォルダ指定	圧縮 2.0MB 分割	○
	圧縮 1.0MB 分割	○
	圧縮 0.5MB 分割	○
	MP2000CF カード バックアップ	×

OCF カード(メディア)から読み込み

対象	形式	本機能のサポート
MP コントローラ転送		×
フォルダ指定	圧縮 2.0MB 分割	×
	圧縮 1.0MB 分割	×
	圧縮 0.5MB 分割	×
	MP2000CF カード バックアップ	×



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 7 ラダープログラムの Expression 編集機能を改善しました。

環境設定画面の「ラダー」→「タブ」に、タブの空白文字数の設定項目を追加しました。ラダープログラムの Expression、IF、While 命令で使用するタブの空白文字数を設定できます。



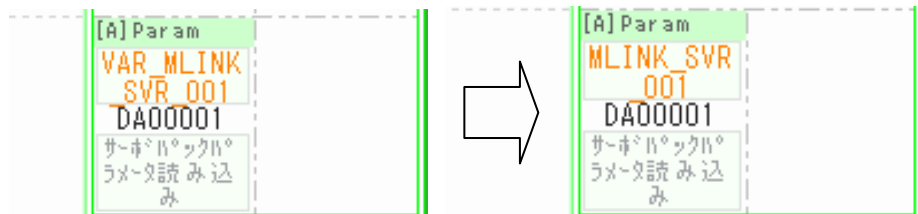
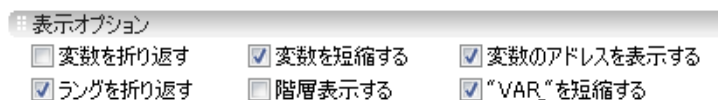
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 8 ラダー命令で使用されるローカル変数表記を改善しました。

ラダー命令中のローカルレジスタの変数に付加される'VAR_'の接頭語を省略表示する設定を環境設定画面の「ラダー」→「表示」に追加しました。

設定した場合、VAR_の接頭語が省略して表示されます。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 9 モーションレジスタの軸変数に変数とコメントを追加しました。

モーションレジスタの軸変数に、追加となっている変数、コメントが登録されていなかったため、追加しました。

OLxx66: 正方向ソフトリミット値、

OLxx68: 逆方向ソフトリミット値

OWxx12: 速度リミット値

ウォッチ 1		
変数	値	コメント
OL8066	0	A1~正方向ソフトリミット値
OL8068	0	A1~負方向ソフトリミット値
OW8012	0	A1~速度リミット値

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 10 Σ-V シリーズのサーボパックに、新たにサーボパラメータと、サーボモニタを追加しました。

以下のΣ-V シリーズのサーボパックに、以下のサーボパラメータと、サーボモニタを追加しました。

- ① M-II 大容量Σ-V(SGDV-****11* AC Input:Over22kW)
- ② M-III 大容量Σ-V(SGDV-****21* AC Input:Over22kW)

○追加サーボパラメータ

番号	パラメータ名称	ファームバージョン
Pn00F	機能選択応用スイッチ F	Ver002D 以降
Pn514	出力信号選択 4	Ver002D 以降
Pn612	サーボパック周囲温度	Ver002D 以降
Pn614	サーボモータ寿命 1	Ver002D 以降
Pn615	サーボモータ寿命 2	Ver002D 以降
Pn824	オプションモニタ選択 1	Ver002D 以降
Pn825	オプションモニタ選択 2	Ver002D 以降

○追加サーボモニタ

番号	パラメータ名称	ファームバージョン
Un027	内蔵 FAN 寿命残存率	Ver002D 以降
Un028	コンデンサ寿命残存率	Ver002D 以降
Un029	突入防止回路寿命残存率	Ver002D 以降
Un02A	DB 回路寿命残存率	Ver002D 以降
Un02B	突入防止リレー動作回数	Ver002D 以降
Un02C	DB リレー動作回数	Ver002D 以降
Un02D	サーボモータ主要部品 1 寿命残存率	Ver002D 以降
Un02E	サーボモータ主要部品 2 寿命残存率	Ver002D 以降

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 11 コメントリストの更新タイミングを変更しました。

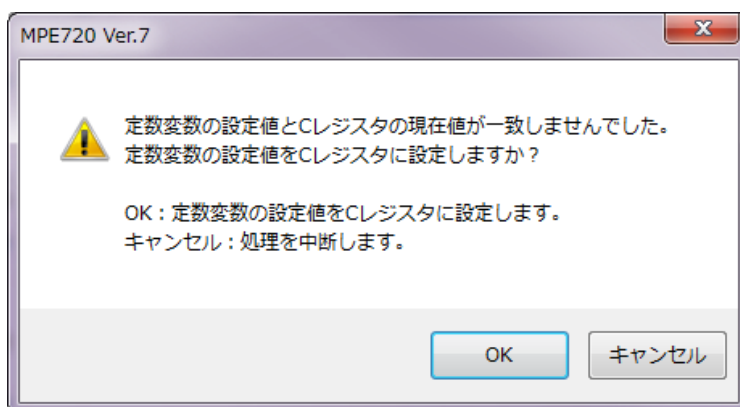
モジュール構成定義で割り付けを変更した際に、コメントの更新を即時反映するように改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 12 定数変数チェック機能の処理を改善しました。

変数ウィンドウの定数変数チェック機能において、定数変数チェックを行った場合に、定数変数の設定値とCレジスタの現在値の比較結果で不一致が発生した場合に、定数変数の設定値が、必ず C レジスタの現在値に書き込まれる動作仕様となっていましたので、確認メッセージの中に、書き込み操作をキャンセルできるようにキャンセルボタンを追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 13 リアルタイムトレース機能の「トレース定義データファイルを開く」処理を改善しました。

リアルタイムトレース機能の「トレース定義データファイルを開く」機能を使用し、トレース定義データをインポートしたときに、定義データに 17 点以上のレジスタデータが登録されていた場合にインポートエラーが発生し、トレースデータ設定画面を開いたタイミングで MPE720 が落ちる現象がありましたので、以下の改善を行いました。

1. エクスポートするトレース定義データに、トレースバッファサイズを出力するように改善しました。
2. トレースバッファサイズが出力されていないトレース定義データをインポートした際に、17 点以上のレジスタが登録されていた場合、以下のメッセージを表示し、サンプリング & トリガ設定画面のトレースバッファサイズの設定値を変更してもらうように改善しました。
3. 17 点以上のレジスタを登録した状態で、サンプリング & トリガ設定画面の「トレースバッファサイズ」に「32[K ワード]MP2000 互換」を設定したまま OK ボタンを押した場合に、登録したデータ点数を 16 点となるように削除する機能を追加しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 14 内蔵 SVC の伝送周期のメッセージを修正しました。

内蔵 SVC の詳細定義画面に表示される伝送周期と高速スキャンの設定値についてのメッセージを修正しました。

○対象機種

MP2101T
MP2101TM
MPU-01
MPU-01N

○メッセージ

125us: 高速スキャンタイムを 500us の整数倍に設定してください。

250us: 高速スキャンタイムを 500us の整数倍に設定してください。

500us: 高速スキャンタイムを 500us の整数倍に設定してください。

1ms: 高速スキャンタイムを 1ms の整数倍に設定してください。

マスタ/スレーブ	マスタ
自ステーションアドレス	0x0001
伝送周期	125us
<input checked="" type="checkbox"/> メッセージ通信機能有効	
リトライ回数	1
接続局数	4
スレーブ検出待ち時間	0sec

高速スキャンタイムを500usの整数倍に設定してください。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 15 テスト運転操作時のエラーメッセージ文言を変更しました。

テスト運転を行った際に、サーボレディ信号が ON していないために、実行できないことがありますので、エラーメッセージに「3 の内容」を追加しました。

○メッセージ

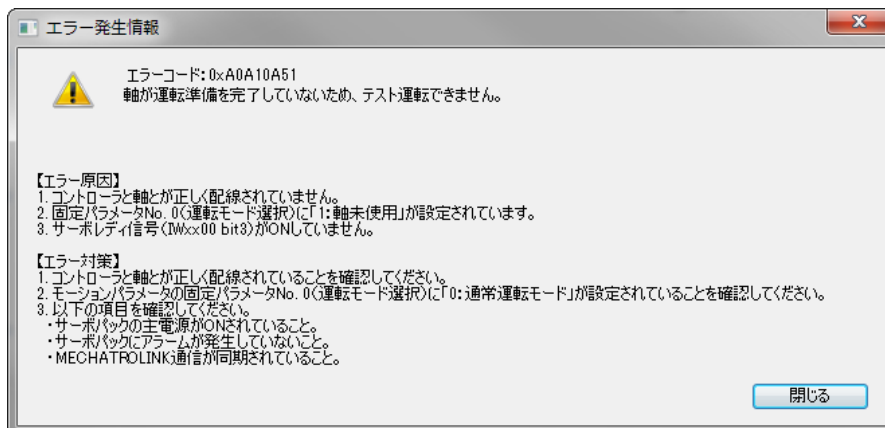
軸が運転準備を完了していないため、テスト運転できません。

【エラー原因】

1. コントローラと軸とが正しく配線されていません。
2. 固定パラメータ No. 0(運転モード選択)に「1: 軸未使用」が設定されています。
3. サーボレディ信号(IWxx00 bit3)が ON していません。

【エラー対策】

1. コントローラと軸とが正しく配線されていることを確認してください。
2. モーションパラメータの固定パラメータ No. 0(運転モード選択)に「0: 通常運転モード」が設定されていることを確認してください。
3. 以下の項目を確認してください。
 - ・サーボパックの主電源が ON されていること。
 - ・サーボパックにアラームが発生していないこと。
 - ・MECHATROLINK 通信が同期されていること。

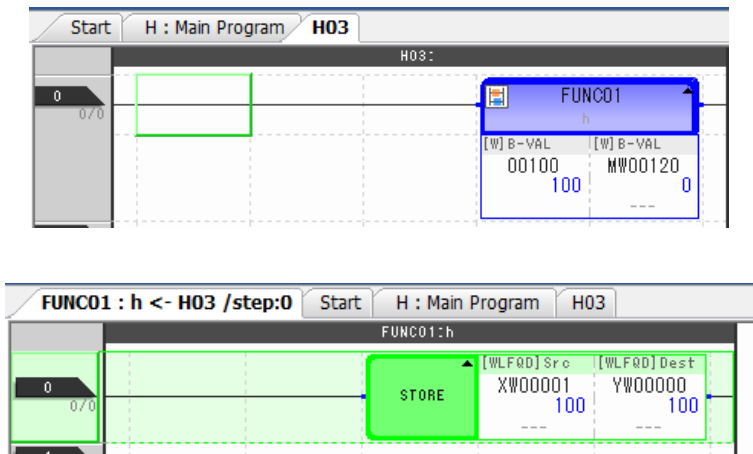


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 16 各ラダー図面からの「現在位置からの呼び出し参照」機能の現在値採取機能の動作を改善しました。

ユーザ関数に対して、各ラダー図面から「現在位置からの呼び出し参照」を実行した場合に、呼び出しされた時の現在値が正しく表示されない現象がありましたので、これを改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 17 サーボパラメータ読み込み時の通信処理を改善しました。

コントローラの高速スキャンタイムを 20ms 以上に設定した場合に、MC-Configurator のサーボパラメータ画面を開くと、通信タイムアウトが発生し、サーボパラメータが読み込めない現象がありましたので、サーボパラメータ画面起動時に、1 回の通信で読み込むパラメータ個数を 320 個から 70 個に変更しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 18 ラダーエディタの置換機能に、変数表示モードを追加しました。

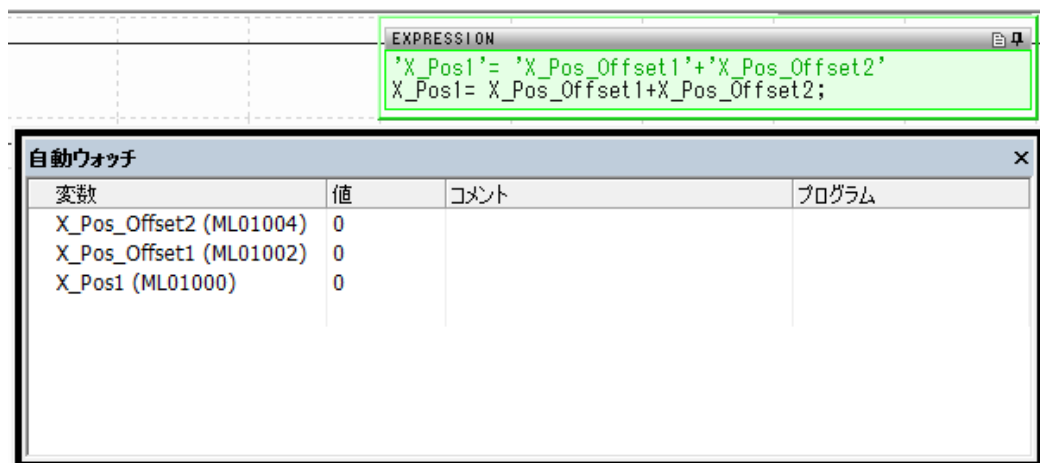
ラダーエディタの置換機能において、変数での入力をサポートしました。これまでは、レジスタのみ使用可能でした。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 19 自動ウォッチの変数表示を改善しました。

自動ウォッチ機能において、ラダープログラムの Expression、IF、While 命令にフォーカスを当てた場合に、命令内で使用されている変数が、レジスタ表示となる現象がありました。変数表示モードにおいては、Expression、IF、While 命令で使用されている変数を、自動ウォッチ機能で表示させた場合に、変数表示で表示されるように改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 20 MPE720 起動時の動作を改善しました。

マイツールの「編集」でアイコン登録数を 0 にすると、次回起動時に起動できない現象がありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 21 MTD2310/30 の入出力変数登録誤りを改善しました。

M-III の入出力モジュール MTD2310/30 の入出力変数のオフセットに誤りがありましたので、IN1、IN2、OUT1、OUT2 が、+2 ワード分オフセットされるように登録を修正しました(英語版の MPE720 のみ)。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 22 M-III インバータモニタパラメータ IWxx31 のパラメータ表示誤りを改善しました。

M-III インバータ(1000 Series INVERTER、Wild Card Inverter)のモニタパラメータ IWxx31 において、パラメータ詳細の表示に誤りがありましたので、これを改善しました。

○パラメータ

Bit 2: サブコマンドレディ

Bit 8~B: サブコマンドアラーム

49: M-IIIサブコマンドステータス	IW8031	-
[Bit:2]サブコマンドレディ	IB80312	-
[Bit:8-B]サブコマンドアラーム	IB80318	-

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 23 PO-01 の固定パラメータ文言の誤りを改善しました。

日本語版の MPE720 において、PO-01 モジュールのパルス軸の固定パラメータの表示に誤りがありましたので、これを改善しました。

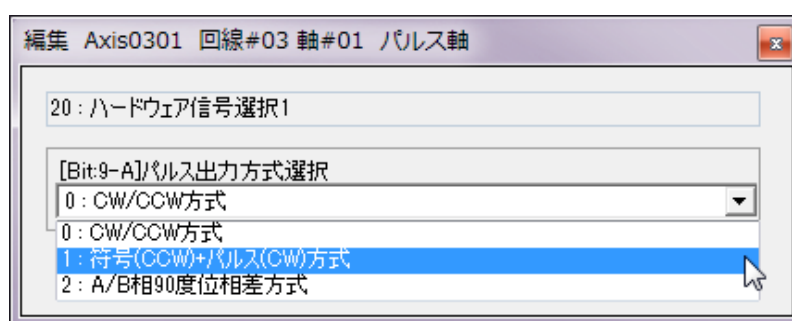
○パラメータ

No.20 ハードウェア信号選択 1 Bit9-A

1: 符号(CW)+パルス(CCW)方式

↓

1: 符号(CCW)+パルス(CW)方式



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 24 新ラダーの印刷処理を改善しました。

ラダープログラムの印刷において、ラダープログラムが正しく印刷されない現象がありましたので、これを改善しました。

1. 環境設定の「印刷設定」において、「回路の自動縮小印刷」の設定を「する」に設定した状態で、ラダープログラムを印刷した場合に、途中のラングが印刷されない。
2. 環境設定の「印刷設定」において、「回路の自動縮小印刷」の設定を「する」、「クロスリファレンス情報を印刷」の設定を「する」に設定した状態で、ラダープログラムを印刷した場合に、ラダープログラムと、クロスリファレンス情報が重複して印刷される。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 25 モーションプログラムのコンパイル処理を改善しました。

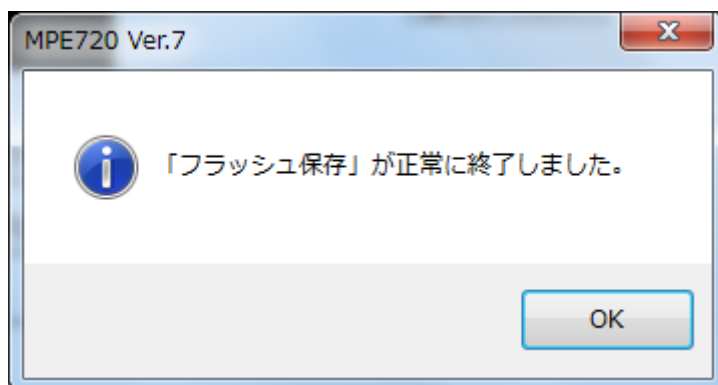
モーションプログラムの UFC 命令において、ユーザ関数の関数名の末端に、5F、5D などの文字列を使用すると、実数であると判定してしまいコンパイルエラーとなる現象がありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 26 バックグラウンドフラッシュ保存完了メッセージの表示タイミングを改善しました。

バックグラウンドフラッシュ保存を複数回、連続して実行した場合に、フラッシュ保存の処理は完了しているものの、完了メッセージが表示されない現象がありましたので、これを改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.10 以降
MP2000 シリーズ	未サポート